

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：かたくりの里	種別：就労継続支援B型・生活介護	
代表者氏名：小澤泰子	定員（利用人数）：60名 (就労継続支援B型40名、生活介護20名)	
所在地：〒252-0804 藤沢市湘南台5-1-2		
TEL：0466-45-8512	ホームページ： <a href="http://www.tomoni.or.jp/katakuri/">http://www.tomoni.or.jp/katakuri/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：1988年（昭和63年）10月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 県央福祉会		
職員数	常勤職員：8名	非常勤職員：12名
専門職員	(専門職の名称) 名	
	社会福祉士 4名 (常勤2名、非常勤2名)	看護師 1名 (非常勤1名)
	精神保健福祉士 5名 (常勤3名、非常勤2名)	介護福祉士 1名 (非常勤1名)
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	作業室 4	トイレ (男性2、女性2、多目的1、共用2)
	面談室 2	シャワー室
	休憩室 2	店舗
	食堂	
	厨房	
	事務室	
	多目的室	
	梱包室	
	倉庫 2	

③理念・基本方針

【理念】

- (1) ソーシャルインクルージョン（共生社会）を目指します。
- (2) 先駆的で開拓的な事業を展開します。

【基本方針】

1. 人権の尊重とサービスの質の向上を図ります。
2. インフォームドコンセント及びエンパワーメントを大切にした利用者さん主体の支援を行います。
3. 地域との共生をめざします。
4. ニーズの多様化・複雑化に対応します。
5. 社会のルールへの遵守（コンプライアンス）を徹底します。
6. 説明責任（アカウンタビリティ）を徹底します。
7. 人材の確保・育成のための研修体制を充実します。

- 8. 柔軟で行動力のある組織統治（ガバナンス）を徹底します。
- 9. 財務基盤の安定化に努めます。
- 10. 国際化への対応に取り組みます。
- 11. 社会貢献活動に積極的に取り組みます。

④施設・事業所の特徴的な取組

当事業所では、就労継続支援B型と生活介護の二つの事業を行い、利用者様様の多様なニーズに応えられるように事業を行っています。

就労継続支援B型では、製菓部門、受注・軽作業部門があり、利用者様の意向と強みに合わせて作業部門を決めています。

製菓部門ではクッキーを中心とした焼菓子の製造・販売を行っています。生地の生成から焼き作業、トッピング、袋詰め、シール貼り、販売など多くの工程があり、利用者様の意思を尊重しながら作業内容を決めています。

受注・軽作業部門では、レトルトカレーの箱詰めやダイレクトメールの封入作業など様々な作業などを行っており、利用者様お一人お一人に合わせ、作業をお願いしています。

その他、施設外作業として、一般企業の倉庫内での仕分け作業や、近隣農家での畑作業を行い、就労に向けての支援を行っています。

生活介護では、プログラム活動を中心として、生活リズムや体調を整える場、日中の居場所として安心してご利用いただけるように事業を行っています。

また、軽作業も行っております。短時間から参加できるようにし、ご本人のペースを尊重して、作業を行えるようにしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年5月16日（契約日） ～ 令和4年12月21日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（ 2019年度 ）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1) 利用者の状況に合わせ、柔軟なサービスの利用ができます

利用者は主に精神障がい者を対象としています。利用者の体調によって、就労に向けた継続的な通所や作業の困難な場合がありますが、そのような場合は、生活介護部門に移籍し、生活リズムを整えながら、安心できる居場所でゆっくり過ごせるサービスが選択できます。体調が戻れば、就労継続部門に復帰することもできます。就労継続支援事業と生活介護事業の両方を、同一事業所として運営する特長を活かし、利用者の状態に合わせ、柔軟なサービスの利用ができます。

2) 利用者の適性、能力を活かせる多様な作業メニューを用意しています

利用者の適性、潜在能力を見つけ出し、本人が希望する生活や就労に向けた取組をしています。就労継続支援部門では、製菓、軽作業、清掃作業などがあります。隣接する店舗、市役所、生協などで毎日のようにお菓子の販売活動をしています。軽作業では商品の箱作りやパソコン作業をしていました。施設外では一般企業の倉庫作業、近隣農家の農作業もあります。職員が「農福コーディネーター」の資格を取り、農家とのネットワークを広げる取組もしています。利用者の可能性を広げる、さまざまな作業メニューを用意し、利用者は選択することができます。

### 3)豊富な食事メニューを自由に選択できます

食事は、20種類ものメニューを用意し、利用者が毎日、好きなものを選択することができます。季節限定メニューもあり、写真付きのポスターを貼り、利用者の楽しみを膨らませています。その日の体調により通所が不確定で、予約をしにくい方もいるため、朝9時半までに申し込めば希望のメニューを食べられるようにしています。利用者から「食事をしたいから、来た」という声もあるようで、通所を続ける楽しみの一つとなっているようです。

### 4)事業所としての中・長期計画策定が期待されます

法人としての中・長期計画が策定されています。現在、事業所としては中・長期計画は作成されていません。管理者は、事業所としてめざしていきたい将来像を持っていますが、具体的に計画化、文書化されていないので、今後の課題と考えています。事業所の特性、歴史、使命の事業所独自のものを検討し、今後、職員、利用者とともに、未来への構想を話し合い、形にしていくことが期待されます。

### 5)業務内容、手順などを整理し、文書化をすすめることが期待されます

事業所の日常業務、標準的な業務を提供するための手順書、マニュアルを整理、整備していくことが課題です。ボランティア、実習生の受け入れに力を入れていますが、受け入れの基本的考えや手順を文書化して、職員の共有化がしやすいようにすることが望まれます。自己評価や第三者評価の結果、どのような課題に、どう取り組んできたのかを文書化し、管理者や職員の交代があっても、検証可能で継続した取組が期待されます。

## ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

事業所として必要な業務や現状について再確認する良い機会となりました。アンケートでは、利用者様のご意見やお気持ちを伺うことができました。今後も事業所で定期的に満足度調査等を行い、皆様のお声を大事にして、よりよい支援を目指してまいります。

日常業務の手順書やマニュアルなどの整備が課題であると再認識いたしました。職員間での共有を行い、文書化を進めてまいります。

また、今回の評価結果を受けて、課題に対する取り組みを継続的に行い、事業所として定期的に検証してまいります。

## ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり